

観光交流都市協定を締結

那珂川町と東京都豊島区が

「ふくろう神社」(鷺子山上神社)がある

—那珂川町—



(左から) 金子会長、大谷町長、高野区長、齊木会長



モザイクカルチャー「えんちゃん」



小砂焼のふくろうを贈呈



世界のふくろうが集合しました

「那須小川まほろば太鼓」と那珂川町物産展が参加しました。那須小川まほろば太鼓はオーブニングなどで勇壮な和太鼓の演奏を披露しました。

また、町のキャラクター「なかちゃん」もかけつけ、「えんちゃん」や「としまくん」「ト

ラフェスティバル」が同じ会場で行われ、那珂川町からは「那須小川まほろば太鼓」と那珂川町物産展が参加しました。那須小川まほろば太鼓はオーブニングなどで勇壮な和太鼓の演奏を披露しました。

また、町のキャラクター「なかちゃん」もかけつけ、「えんちゃん」や「としまくん」「ト

福を呼ぶと言われる「フクロウ」の縁で、那珂川町と東京都豊島区が観光交流都市協定(ふくろう協定)を締結するため、3月25日、JR池袋駅西口駅前広場で調印式が行われました。

豊島区は池袋の「ぶくろ」から、また、フクロウが羽を広げたような区の形からフクロウが区のシンボルで、池袋駅東口には待ち合わせスポット「いけふくろう」や「ふくろう交番」もあります。昨年3月には同駅西口駅前広場にモザイクカルチャー(金属フレームを使って低木や花を植え、人や動物などの形に仕上げる)のフクロウ像「えんちゃん」が設置されました。

一方、那珂川町には日本一大きなフクロウ像のある鷺子山上神社が「ふくろう神社」として知られ、小砂焼ではフクロウの陶芸品が人気を集めています。

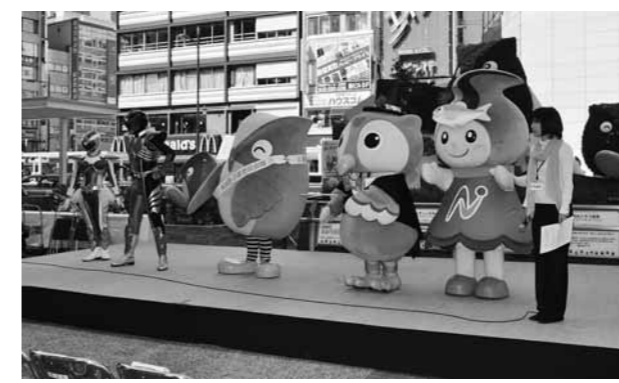
そんな那珂川町と豊島区は豊島区在住の本田様と久那瀬の地橋様との交流をきっかけに、平成20年から住民交流が活発になり、豊島区の友好都

市観光物産展に出店・参加したり、豊島区長や観光協会長などが来町したりと交流を続けてきました。

調印式では大金伊一町長、高野の夫区長などのあいさつの後、金子一哉・町観光協会会長と齊木勝好・区観光協会会長が「：豊島区と那珂川町は、それぞれが持つまちの魅力を高め、未来に向かって飛躍することをめざし、文化・観光を軸とした相互交流を深めていくこととし観光交流都市協定を締結します。ふくろうが縁で生まれた絆が、やがて両区町をつなぐ大きな架け橋へ発展することを期し、この協定を「ふくろう協定」と呼ぶこととします。」と協定文の朗読をしました。

続いて、大谷町長と高野区長が協定書に署名をし、立会人として金子会長、齊木会長が署名を行いました。その後、両区町の議会、観光、行政など大勢の関係者が見守る中、協定書を交換し、4人で固い握手を交わしました。

この日は「えんちゃん」の1周年記念イベント「ふくろ



協定締結までの主な経過	
H20年6月	副町長外3課長が豊島区を表敬訪問
H22年7月	町長外2課長が観光交流事業打合せのため豊島区を訪問
10月	豊島区の「平成22年度友好都市観光物産展」に参加出店
11月	豊島区長、正副議長、観光協会長、梶の樹をつくる会会長など22名が来町
H23年1月	豊島区より「観光交流都市協定(ふくろう協定)書」が示され3月27日に調印式を行うこととする
3月	東日本大震災により調印式を延期
10月	豊島区の「平成23年度友好都市観光物産展」に参加出店
11月	豊島区観光協会設立50周年記念式典に町長等が出席し、観光物産展に出店参加
11月	ふくろう協定調印式を3月に開催することとする
H24年	
3月25日	観光交流都市協定(ふくろう協定)調印



豊島区は東京23区の西北部に位置し、東は文京区、南は新宿区、西は中野区・練馬区、北は板橋区・北区に隣接しています。

面積は約13平方キロメートル(那珂川町の約15分の1)で、23区中18番目の広さです。東西に6,720メートル、南北に3,660メートルで「鳥が羽を広げたかたち」をしています。

総人口は約26万7千人と那珂川町の約14倍。(人口密度は日本一)

池袋駅が交通の要衝で、1日の乗降客数は日本国内第2位です。

サクラの代表品種ソメイヨシノの発祥の地で、霧島ツツジも多くつくられています。

「ふくろう」が区のシンボルです

—東京都豊島区—

